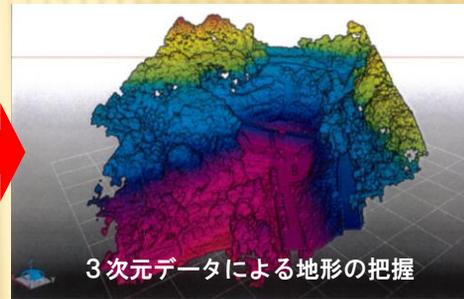


現場からの声

現場の特徴・問題点など

当現場は、甚大な災害が発生した小坪地区において、3溪流が合流する地点に砂防堰堤を構築するため、集中的な降雨による二次災害の発生が懸念される場所であり、1日も早い本堤完成が望まれた。また、施工箇所までのアクセスに現存する市道を利用するため、近隣住民の方の社会生活への影響を最小限に留める必要があることに加え、堰堤築堤箇所は山腹が切り立った箇所を掘削し築堤するため、重機作業時の安全性の確保及び作業中の二次災害を抑制するための最適な施工順序・施工方法を選定し、安全且つ迅速に作業を進めていく必要があった。

工夫など



- 工事用道路を鋼材による仮設栈橋とすることで、短期間での施工箇所までのアクセスを可能としたことに加え、大型車両や大型重機の搬入経路を確保できたため、工期の短縮を図ることができた。
- ドローンによる測量成果から3次元データを作成し、現状地形を把握したことで、施工順序や施工方法の検討等に生かすことができ、測量業務の効率化及び工期短縮を行った。
- 施工箇所周辺の崩壊危険箇所をドローンにて定期的に確認し、二次災害発生の危険性を把握し、防災対策を行った。

今後の抱負

当該地区にお住まいの方々が1日でも早く安心・安全な暮らしが取り戻せるよう、作業従事者一丸となって工事の早期完成を目指してまいります。

引続き工事に対するご理解とご協力をお願いいたします。